

ごみの組成分析に参加してみませんか？

今年も組成分析をビン・缶リサイクルセンターで行います。

組成分析は、家庭からでた燃やせる(可燃)ごみの中に何が入っているかを調べるため、毎年1回行っています。

ごみ分別の再確認ができる組成分析に参加してみませんか？どなたでも気軽に参加できて、2時間程度で終わります。ごみを取り扱いますので、汚れても良い服装で実施日に直接、ビン・缶リサイクルセンターにお越しください。

実施日:平成26年3月31日(月) 時 間:午前9時から2時間程度

場 所:狛江市ビン・缶リサイクルセンター 持ち物:タオル・長靴・マスク

多摩川 統一清掃に 参加して みませんか

恒例の多摩川統一清掃を平成26年4月12日(土)に予定しています。詳しくは、4月1日号の広報に掲載しますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

クリーンセンター多摩川に搬入できないもの

下記の品目は、狛江市では収集できません。(詳細につきましては清掃課にお尋ねください)

- ボーリング球・消火器・耐火金庫・鉄塊・鉄球・鋼板等
- コンクリート・ブロック・レンガ・石類・土砂及びタイル等
- 塗料・シンナー・ガソリン・灯油・オイル及び有機溶剤等揮発性物質
- 有害薬品等(工業用薬品、化学薬品、農薬、その他有害・有毒と思われるもの)

などのごみは、ごみ処理施設を破損、損傷させる恐れがありますので、クリーンセンター多摩川に搬入することができません。これらの品物を排出する時は専門業者にお問い合わせください。



ごみ減量化に向けた取り組み(重点施策)

●ごみ減量のための4R運動に取り組みましょう

- Refuse (リフューズ)**.....とは、ごみになるものを買わない、断ること。
- Reduce (リデュース)**.....とは、ごみの量を減らすこと。
- Reuse (リユース)**.....とは、使ったものを廃棄せずに、そのまま使うこと。
- Recycle (リサイクル)**.....とは、使用後廃棄せず再度資源として利用すること。
リサイクルするためには多くのエネルギーと多額の費用を要します。

●生ごみ処理機の利用で減量を

市では電動・非電動生ごみ処理機等を購入された方に購入費の一部助成を行っています。

●集団回収事業を奨励しています

奨励金は、団体の活動資金などの財源として利用することができます。

平成26年4月1日以降、清掃課の部署名が、建設環境部から環境部に変更になります。粗大ごみシールの表記については、順次、切り替えていきますので、従前のシールについてもそのまま使用できます。

粗大ごみシールについて



ペットボトルの使用を控えましょう。ペットボトルの処理単価は、平成24年度は、1kg当り約183.26円でした。これを500mlペットボトル(約25g)に換算すると、1本当り約4.58円の処理費用がかかっています。ビン・缶と比較すると、2倍以上の処理費用が必要となります。地球環境にもやさしいマイボトルを使って、ペットボトルの使用を控えましょう。

ペットボトルの使用を控えましょう